

でっかい雪像できました 広場いっぱい楽しい集い



社会福祉総合施設、大野台の里で、ジャンボな雪像造りが行われています。大野台の里では、十八日、雪まつりを開催。そのメインとして、施設対抗の雪像コンクールが行われました。

雪を利用した「遊び」の一環で、入所生たちは和気あいあい、創造力を発揮。「札幌の雪まつりには及びませんが」と言いながら、笑顔の職員の方々は意欲作に自信の表情でした。

今年は雪不足に加えて、製作途中で雨が降り、雪像造りには例年になく悪条件。それでも広い園庭にはチーム毎に大きな雪の山が盛り上げられ、職員と入所生が一体になつて見事な雪像ができあがりました。

'87/2

346号

今月の紙面から

- 2、3面 地域おこしフォーラム
- 4面 教育を語る会 婦人問題研究集会
- 5面 合川・国立児童交流 東京阿仁川

広報

あいかわ

昭和62年(1987年)2月21日 第346号 秋田県合川町 編集 総務課 電話 0186-78-2111

生産者と消費者が

手をとり合って

鷹巣阿仁合川町おこしに新たな視点

鷹巣阿仁合川町おこしに新たな視点
鷹巣阿仁合川町おこしに新たな視点
鷹巣阿仁合川町おこしに新たな視点
鷹巣阿仁合川町おこしに新たな視点
鷹巣阿仁合川町おこしに新たな視点

講演に先立って、島山町長(広域市町村圏組合管理者)がフォーラムの目的などについてあいさつしました。

島山町長は、「私たちが食べている食品は、都会の人と同じもので、その中には「有害」と言われるものも多い。私たちが見捨てていた食品の中に、安心して食べられ、都市のくらしに結びつけるべきものがあるかもしれない」と、身近な食生活から提言。「秋田内陸線が結ばれる田沢地区とも一体になって、「地域再生」の方途を探ろう」と呼びかけました。

会場内では圏域町村と二ツ井町の特産品が即売されて大にぎわいでした。私の幼年時代には、農家の人が野菜を行商に来て、その大切なものは何かをいっしょに考えましょう

東京都議会議員・池田あつ子氏の基調講演から
大切なものは何かをいっしょに考えましょう



東京都議会議員・池田あつ子氏の基調講演から

人から、生産の様子が変わりました。都市生活になって、お金の中心の豊かさの中で、食べ物を通じて見えていたものが、見えなくなりました。農業が多量に使われた野菜、原料がどこからきたかわからない加工食品、輸入食品など、だいたいどうぶたろうか不安になります。こうした不安を無くするために協同購入を始めました。生産者に条件を示し、相方が納得できる契約栽培―産直の実現を目指しています。生産者に安心して食べられるものを希望するとともに、消費者にも、同じ考えの仲間を増やそうと努力しています。生産者と消費者は同じ立場で物を考えたいという姿勢でいます。私たちは都市生活の中でも本来の「働く姿」を求め、町づくりに努力しています。この会場の皆さんとも、「人間的な協同」という意味で助け合いたいと希望しています。「町おこし」は、何を大切にするか、どこまでやるか、を真剣に考えてください。現代は都市も農村も、それほど差のある生活はできにくい時代です。少人数でも、自分の町は自分で造るといふ、覚悟のようなものを持望します。

町長日記から

町中央駐車場が出来て、間もなく冬期に入ったが、夜間駐車のままの車が多く、除雪出来ない。除雪が出来ないから、利用者が増えない。典型的な悪循環だ。

除雪は一般的に駐車していない時間帯(夜間、早朝)にするわけだから、何とか夜間駐車をしないとか、一定の区画を特定して駐車させるかしないと、これは是正されない。多大の町費をかけて、町民の利便を図るつもりが、このようなことでは問題である。

冬期降雪期の夜間駐車の問題は、役場の守衛に鍵を預かるとか、何とか対策をたてなければならぬ。町の駐車場管理機能の問題と、利用町民のマナーの問題だ。雪国では暖地の人にはわからない社会秩序への対応があるわけだ。(義)

わたしたちの町

人口(男)	4,479人
人口(女)	4,805人
計	9,284人
12月中の転入	19人
転出	14人
世帯数	2,294世帯
(1月末日住民登録人口調べ)	

合川診療所診療日
内科 毎日(休日除く)
外科 火・木曜日
歯科 土曜・休日を除く毎日

フォーラムでは、六名の提言者に会場からの発言を加えて話し合いが行われました。発言者は、それぞれの活動や職場から、「町おこし」について発言。参加者は、転作「過疎」など、それぞれの多くの課題と話し合いの内容を結びつけて、真剣な視線をおくっていました。

コーディネーター(司会)



今野 聡さん
全国農業協同組合連合会
大消費地販売推進部
販売企画室審査役



鈴木 元彦さん
秋田県立営農大学校
副校長



消費に値するものを
つくり出そう



成田 貞美さん
ニッ井町農林課長

ニッ井町を訪れた生活クラブ生協の関係者と、骨のタタキ入りのキリタンポなど、田舎まる出しの料理で歓談し、その料理が、ほめられたのが首都圏への販売のきっかけでした。町では農業社会が失っていた自給自足の再生と、高齢者の生きがい対策として、比内地鶏を導入し、特産化しています。

飼育の体験の中で、流通・消費・生産の交流が進み、昭和六十年から生活クラブ生協との実験的取り組みが始まりました。その中では「自給運動の一環として取り組む『意識』を確認することを第一にあげ、出荷方法などを決めました。昭和六十一年十月には生協側から「特産物は使う側が消費に値するもの」などの課題が示され、町でも「素材にこだわり、放し飼いにこだわり、減反田と山林、原野に植えること」にこだわり続けること「こだわり」を目標にしました。生産から流通までの一貫体系と、比内地鶏と他の生産物をつなぐと考えています。

無農薬・手造りの
あわ餅はどいんどい

あわ餅はどいんどい



御所野克巳さん
(合川町・生産農家)

大館北秋地域が一本化してきゅうりの生産・出荷を行っており、高い評価を得ています。運賃や市場での評価を考えると、生産量を増やしたいのですが、選別など品質管理がたいへんで、一戸当りの栽培面積には限界があり、産地形成に一層の努力が必要だと考えています。

私は「あわ餅」に着目しています。無農薬の自然食品として、血圧を下げる健康食品として売り込めたいと思います。ただ、手造りの物は、量産できないという悩みがあり、そうした流通先として、消費者と直接結び付いた方式に期待しています。

まぶ生産者が食べ
身近な人に売るとか



佐野嗣彦さん
生活クラブ東京本部
企画調査室長期計画
プロジェクト事務局長

スーパーマーケットの発展に示される大量流通時代に入り①ねだんのからくり ②品質のからくり ③生産情報のからくりという、影の部分が大きくなりました。こうした部分を無くするために「共同購入」の運動を行ってききました。

共同購入では消費者側が生産に責任を負います。たとえば一年後に使うようゆは、今から、生産、保存、輸送にまで責任を負って契約しています。

国の調査では、家計の五〇%以上は衣・食・住に係らない支出だそうです。これは消費生活は「満ち足りた時代」で、「選ぶ時代」になったということです。

どいぶくを二十着
注文されました



畠山慎之進さん
鷹巣町
沢口農協組合長

ふるさとセンターを訪れると、都市で必要とされ、私たちの身の回りにもあるものがたくさんありました。そして、私たちが思いもかけない物を都会の人たちが要望していることに驚きました。その一つが冬に着る「どいぶく」です。二十着、注文されて、手造りして送りました。

この経験から、毎日の食材料を届けることができないかと考えました。今の季節だと、雪の下のネギを掘って送れないでしょうか。都市部では、食べ方が違う物があることで、料理方法を付けて送って喜ばれた物もあります。現在、収穫期による一年間の出荷メニユーを求められており、身近な品物に、地域の情報をつけて都市に送り届け、交流を深めたいものです。

ほしい地場の野菜
本物の味わいを大切に



中島 喜代さん
秋田県商工会婦人部
連絡会長
鷹巣町議会議員

生産者は、消費者の求める物が何かを、必ずしも考えていない面があります。たとえば食べ物にも、必要ない装飾があります。私たちの地域には、その意味で、消費者の求めるものがあります。生産者と行政が一体になって、売り込みが必要です。

私の商売(仕出し)のことでは、野菜のほとんどが県外産で、本来の味わいが足りないようで、何とか地場産の利便を増やしたいと願っています。ねだんが安いばかりでなく、特色ある品物がほしいものです。町の「市日」を見ても、地場の物が少ないようです。

世界と競争する
農業をめざす



小塚 純一さん
(鷹巣町)

米の活用を、もっと広げること、工夫したいことです。インスタントラーメンに負けないものを、米の中から見つけ出せたら、すばらしいと思います。

の姿を勉強しています。大型トラックいっぱい、きぬさやえんどうが運ばれてきたり、世界各国から入ってくる食べ物に、その都度、びっくりしています。農業は国内の競争とともに、外国産とも競争しなければいけない時代です。外国産は、味は良くないものもありますが、国内で加工や調理されると、消費者にはわからないでしょう。農業が起きないと、町おこしはできないと思うので、今は、話し合いよりも実践——世界を相手にして、東京で勝負できる農業をめざすことが町の農業の生きる道だと考えています。

川上の人と川下の人
同じで暮らしたい



森澤和貴子さん
(能代市)

私たちは生産地の近くに住みながら、消費生活は都市の人と同じ環境です。たまごの仲間」という会で、農家を訪ね、安心できる食べ物を契約生産してもらったりしています。生産の姿を知ること、私たちの消費の態度も変わりました。近い距離です、お互いに良くわかり合えると思います。

遠く(東京)にはばかり目を向けないで、近くの消費者にも目を向けてください。経済的な自治をめざして、地域の問題をいっしょに考えていきたいのです。たとえば私たちは川下に住



各町村の特産品開発への強い意欲から多彩な出品。村長さんが、販売担当者を激励して売り込みに一役。



▲「ええもんだすな。これどこで作ってるんだすか？」と、郷土の良さを改めて知った会話が聞かれました。

味を見て、作り方を聞いて「これなら作れそう」「これなら売れそう」と実感一

いいもの にきわった 特産品



いっぱい

カメラ スケッチ



製造工程などを質問し、熱心にメモを取る姿が、各コーナーに見られました。



◀町内婦人団体の「だまこもち」食堂は大好評。「米を加工して売る体験」の第一歩。

経済戦争に打ち勝つ 知恵と力ネを出す努力を

国内では年間一千万トンの残飯が出ているものと見られています。これは米の生産量と、ほぼ同じです。一方では新鮮なものを早く食べたいとの要求から、「活魚」の販売が急速に伸びています。消費の豊かさというより、消費者が踊らされていると言つてよい面があります。

意識でいたいし、生産者と消費者が、いっしょに暮らしていきけるのが理想だと思います。



上田 洋一さん
NHKチーフプロデューサー

そのためには、生産者の側から情報を出していくことが必要です。町おこし運動では、創意工夫を重ね、誤解を恐れずに努力して成功した例を、多く見かけます。

私たちが本場に必要なもの——本場の味——を取り戻すために、経済戦争に打ち勝つだけの、知恵と力ネを出す努力をしてほしいと思います。

少量でも特色ある 品物を求めたいです



高井 善憲さん
秋田市民市場理事長

秋田市民市場は、八郎潟周辺の人たちの露店販売から発展したもので、名称どおり「市民の台所」を自認しています。卸売市場が別に建ち、大型店が秋田市内に進出しています。が、生鮮食品の販売は、それほど減っていないようです。市民市場の各商店では、ほとんど卸市場から買った品を小売しているわけですが、本場に欲しい物は、他の店に無い品物です。変わった品、新しい品、目玉商品として飾れる品を求めています。そうした品の多くは現在、

山形県からトラックで持ち込まれています。少量でも客を引きつける商品として、各小売店で利用するわけです。市民市場も、加入小売者の高齢化など、課題をかかえて将来の方向を探っていますので、皆さんの結びつきを、より強めたいものだと思っています。

低農薬で もつかる農業を めざして



佐藤 愛子さん
(森吉町)

私は低農薬野菜を栽培して、生協などに届けています。都会の人たちは、良く勉強していただきますから、私たちが負けずにがんばります。特に女性の消費者の知恵に対して、女性の生産者の責任が重大です。家族が安心して食べられるものを生産して、魅力ある農業をしたいと思っています。それを、もうかる農業にする自動努力が必要です。

地元で自信の
持てる生産物は
必ず売れる——
(者から
発言
司発)

夏秋野菜については、この地方は、まちがいがなく最高と言つて良い適地です。一般には経済連全農——市場——小売というルートで、農協から直接産直する方法が大規模に行われています。今日の話し合いでは地域内の自給ということが提起されました。地元で、自信を持って売れる物は、外でも売れる——自分がこう栽培して、こう食べるのだという意識をしっかりと持ちたいものです。その商品を書き物にうまく表現して、情報として送り出してください。心をかけて物を作る。ところが、生活ルネッサンスという今日の主題だと思います。

第八回合川町の教育を語る会が、二月十八日に開かれ、PTA、教職員、保母、各種団体役員など各層が参加して、一貫した子ども像を求めようとするものです。各分科会からの提言をまとめてみました。

地域の子ども——みんなで育てよう。

気が付いたら誰でも注意し合おう。他人の注意を、すなおに聞ける子どもにしよう。みんなで、あいさつし合おう。

お金の大切さを教えたい。

お年玉や、おばあちゃんからの小づかいなど、安易なお金の与え方に気をつけよう。何が価値がある物かをしっかりと教えたい。

農作業や小動物飼育の体験を

うさぎや鶏を飼う体験から学ぶものは多い。学校田の体験農作業でも、子どもたちの喜びは大きい。親子での、ふれ合い農作業をすすめよう。子どもの働いた結果を、いっしょに評価し合おう。

第二十六回合川町婦人問題研究会は一月二十五日に開かれました。○地域づくり○子育て○くらし、の三テーマに婦人の声を——と毎年、積み重ねられる婦人の社会参加は、他町村からも注目されておられ、百十名の参加者が活発な話し合いを行いました。

今年の話し合いでは「町おこし」に婦人も参加しよう。との発言が目立ちました。

ふやしたい 遊びの時間 読書の時間

—合川町の教育を語る会—



食事の時間を大切にしよう。

造る人への感謝の気持ちがあるように。家庭内の会話の時間にしよう。世代をこえて同じ物を食べることから、食事」を素材にした心の交流が生まれる。

読書の時間をふやそう

絵本、カルタなどで読書になじませる工夫をして好評。『ことばの実』を豊かにするために努力しよう。

もつと遊ばせよう

父兄の応援熱が強すぎてクラブ活動の時間が多すぎないだろうか。自由に遊ぶ時間をふやしたい。自由な遊び親子でもつと話し合おう。

親子座談会でふれ合いが

生まれた。行事にも子どもの意見を聞いて、役割分担をさせたい。子どもの行き先や、大人の留守時間などについての生活をしっかりと行おう。

大人がしっかりとしよう。

父兄の学習の機会に参加者が少ない。まず、大人が勉強し、意識を高めよう。

▽うさぎを飼育したい。▽特産品をいつでも買えるようにしたい。▽マト火まんじゅうを作りたい。など、婦人の知恵が幅広く提案されました。

町おこしに婦人も参加を

第二十六回 町婦人問題研究会

「小さい事から、何かを得ようとする気持ちを持つ。」婦人の小さな力の積み重ねを家族に示し、地域づくりまで進めよう」と力強い提言。

町長、商工団体関係者などの助言者への要望が幅広く行われました。



自然の中で魅力ある親子活動をしよう。

自然の中の活動—川遊び山登りなどで、いっしょに楽しもう。遊びの中で助け合いが生まれ、反省の中でふれ合うものが多い。

休日親子の時間にしよう。

休日の行事が多く、親子の自由な時間が少ない。家庭の日（第三日曜日）運動を広く呼びかけよう。

子どもの中にとけこもう。

子ども部屋にも親が入れるように。いっしょに話し合って良いものを見つけ、行く努力をしよう。

良い仲間作りを見守ろう。

非行化はグループの中で引きずられる例が多い。良いグループ作りをすすめよう。

.....

おわりに木村仁兵衛教育長が「子どもたちの体験が狭く、自由な世界」を大切にしなければいけないと強く感じた」とあいさつ。他県の教育実践例などを報告しながら全体会のまとめを行いました。



できごといろいろ

斉藤麻衣子さん (西小)

二大会で優勝

二月一日に開かれた第三十二回大館北秋田小学校スキー米内沢大会で斉藤麻衣子さん（合川西小五年）が優勝しました。斉藤選手は続く七、八日に開かれた第三十二回阿仁部学童スキー大会でも優勝。町内応援団は、大きな喜びに包まれていました。

両大会は、全国的にも高レベルの大会と言われており、町内小中学校から多くの選手が参加。学校ぐるみの応援を行ったところもあり、父兄と児童が一体になって熱戦が繰

全県綱引で

川井(女子)準優勝

第六回県綱引選手権大会は、一月二十五日、秋田市で開かれました。

昨年、同大会で優勝した川井体協女子チームは強豪チームを勝ち進んで決勝戦に進出。惜しくも準優勝にとどまりました。

男子戦では川井体協が準々決勝まで進出。三木摩当チームも四回戦まで勝ち進みました。

温室の中は 春いっぱい

山菜出荷たけなわ

町内のハウス園芸施設では春の山菜類の収穫がたけなわです。二月一日の地域おこしフォーラムでは、たらの芽「うど」「こごみ」などが園



『良い森林を つくる』

森林組合、役員農林課では間伐希望をまとめています。規模は一施行地〇一畝以上、本数伐採率は一〇%以上が目途です。お気軽に相談ください。

総合福祉施設大野台の里

職員募集のお知らせ

社会福祉法人秋田県民生協会・総合福祉施設大野台の里では次のとおり職員を募集します。

予定人員—指導員(男・女)九名、調理員(女)一名計十名。

応募資格 ①昭和二十六年四月一日以降に生まれた者で高等学校卒業(卒業見込を含む)以上の学歴を有する者。(調理員は除く。)

②現に合川町に住居を有する者 ③社会福祉についての経験や資格、または理解と熱意のある者

募集締切期日 昭和六十二年三月十四日

申込要領 ①自筆の試験申込書及び健康診断書(指定用紙を用いること) 各一通

②最終学校卒業証明書(見込書または卒業証書の写)一通 ③資格、免許のある者は、それを証する写 一通 ④住民票の抄本 一通 以上を協会事務局(愛生園内)に持参すること。(代理人でもよい)

試験 ①昭和六十二年三月十九日(受験者には後日通知します) ②試験科目—筆記試験、作文

合格発表 昭和六十二年三月二十八日 愛生園前の協会掲示板に告示するとともに合格者に通知する。

くわしくは協会事務局(上杉字金沢二四〇・☎〇一八六一七八—三二八二)に照会ください。

から出品され、人気を呼んでいました。

こごみ藤忠さんのハウスでは「こごみ」の出荷のまっ最中。春の香りに包まれて、いいいな収穫作業が続いています。

山菜類のほか、町内ではほうれん草、東京菜などを出荷。新鮮な味覚が喜ばれています。

新しい家族がふえたようです

国立市 第十六回児童交流

東京都国立市(くにたちし)と当町の児童交流は第十六回目になりました。一月十二日から五日間、当町の十名の児童が国立市を訪ねました。

交流は夏休みには国立市から当町に児童が来町。冬休みには当町から訪問し、「里親」の家庭で民泊しての交流を重ねています。家族から離れて環境の違う場所での生活で、子どもたちは多くのことを学び合っているようです。

今回の交流では、対面交流、里親といっしょの自由行動、お別れパーティと受け入れ側の協力を得て、児童たちには思い出がいっぱい。帰町後の反省会では、参加者から生き生きとした報告が行われました。

「初対面でも、数年来の知り合いのように、あたたかく迎えてくれました。」と、とても親切ですが、注意しなければならぬことは、きちんと注意してくれました。」と里親への感謝の感想。

記念植樹、遊園地、どんと焼きなど、楽しい体験が語り合われました。「これからも手紙のやりとりを、ずっと続けたい。」と、これからのつき合いを長く続けます。」と、これからの交流を約束。夏の子どもたちとの再会や、国立市への再訪を望む会話が聞いていました。

「よろしくお願いします。」とはじめは少し緊張さみ(交流研修会)



第16回国立市合川町児童交流研修

「いりこまき」に話がはずむ

首都圏の町出身者 阿仁川会総会

町内出身の首都圏在住者で結成している阿仁川会が、一月十五日、都内で開かれました。阿仁川会は、合川町発足当時の交流が続いているもので毎年一回、定例総会を開いて懇親しており、今年も

秋田民謡で活躍している杉淵薫さん(増沢出身)が三味線を披露。参加者が得意の唄に合わせ、会場はふるさとムードでいっぱいでした。

町では「いりこまき」「すましもち」などの特産品を持ち込んで会場が即売。なつかしい味わいが喜ばれたちまち売り切れになりました。

と、町と町出身者の結び付きをめぐり、交流を深めることにしています。(阿仁川連絡先は、会長・工藤美代松さん、上杉出身・東京都江戸川区西小岩三三三三六です)

総会の中で、町長が町政報告を含めてあいさつ。町の様子を紹介し、「町おこし」についての協力を呼びかけました。懇親会では久しぶりの顔合わせに、なごやかに交流。お互いの近況報告などに話がはずんでいました。

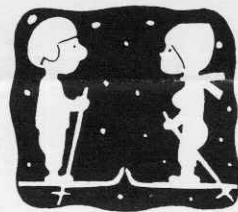
阿仁川会では、会員同志の助け合い



▲「いりこまき」「すましもち」は大好評。「もっとほしかつたのに」と要望されました。

でっかい自然を楽しもう

県民歩くスキーの集い 大野台会場
3月8日(日) 午前9時50分受付



- 完走証・記念バッジ・トン汁を参加者全員に
 - ワックス指導、初心者指導、スキーマラソン
- あなたのペースでゆっくりどうぞ

火の用心—そして万に備えての用心も

- 家族のひとりひとりに火の用心の責任を徹底させましょう。
- ストーブ、ボイラーは「変だね」と思ったら使わず点検
- 消防用水や避難口をそれぞれの家庭でしっかりと確認しておきましょう。

就寝中の男性焼け死ぬ 鷹巣町で

いいのかな? クイズ 10



ミニバイクののって、でかけたおとうさん。しごとのときにかぶる、こうじのあんぜんぼうをかぶってでかけたよ。(よい・わるい)

解説 バイクを運転中に交通事故で死亡した人の64.5%は、頭や顔を打って死亡しています。このことから、ヘルメットをかぶらないことが、どんなに恐ろしいか、よく分かります。ところで、ヘルメットは一定の規格に合ったものには「S」のマークがついています。工事用安全帽は、二輪車用ではありませんので、事故の場合の効果は少ないのです。規格のヘルメットをしっかりとかぶって、バイクに乗る習慣をつけましょう。 ことえーわるい

がんばっています ヤンク



川井 村形 一さん (25才)

(重造さん長男 家族 父、母、祖母)

仕事は 高校を卒業してすぐに合川縫製に入り、ずっとお世話になっていました。今は裁断の仕事が主で、他に出入荷など倉庫の仕事もあります。製品は婦人服が主ですが、自分たちが作った製品を着ている人を見かけるとうれいです。

趣味は 映画と読書。映画はほとんどの新作を見ており、近頃はビデオで映画を楽しむことも多くなりました。読書では、前はハードボイルドに夢中でしたが、ホラー物が主です。青年会の仲間や、同級生が多いので遊び歩いています。

夢は 海外旅行、スイスへの旅にあげられています。

上司から一言「まじめで、仕事に対しては厳しいものを持つています。みんなに信頼され、人気があります。」

季節の星座
三月中旬、午後六時ごろ
ほぼ真上に見えます。

オリオン座

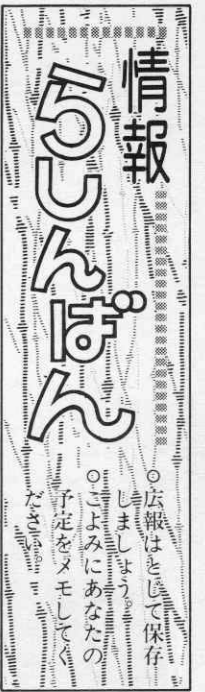
このコーナーでは私たちのくらしを県内市町村と比べ統計数字で探ってみます。

美容・理容施設数(昭和59年人口1,000人当り)

①大郷町	6.82
⑩鷹巣町	5.59
⑮秋田市	4.23
⑳合川町	3.94

全国的には理容所、美容所は年々増加しています。県内でも美容所は年々増加していますが、理容所は、やや減少傾向です。また全国的には昭和53年以降、美容所のほうが理容所より多くなっています。県内では仙北大曲地区の人口当りの店数が多いのが目立っています。

県内三〇三〇三統計



確認ください

地籍調査図

町の地籍調査事業で昭和六十一年測量力所について、地図と簿冊の閲覧を行なっています。閲覧結果誤り等がある場合は、閲覧期間内に訂正の申し出を行わなければなりません。...

児童手当(二子から)

手続きください

児童手当は昭和五十八年四月二日以後に生まれた児童を含む十八歳未満の児童を二人以上養育している人、昭和五十二年四月二日以後に生まれた児童を含む十八歳未満の児童を三人以上養育している人が受けることができます。...

加入ください

交通災害共済 不慮の災害共済

二月一日から六十二年度分の市町村交通災害共済、不慮の災害共済の受け付けが行われています。...

標準小作料が 決まりました

町農業委員会で、昭和六十二年以降に適用される水田の標準小作料を、前年より据え置くことを決めました。...

農耕用軽油

免税証交付受付

農耕等に使用する軽油について、軽油引取税免税証の交付申請を次のとおり受け付けます。...

国民年金 助け合い義務

二十歳から六十歳までのすべての国民は、国民年金に入する義務があります。国民年金は老後の生活ばかりでなく、不慮の事故に合わせた場合に備えて、国が運営する所得補償制度です。...

建築物防災週間

三月七日(土)から

地震に備えて窓ガラスやプロックベいは大じょうぶですか。火災に対する設備は万全ですか。...

司法書士 無料相談

三月末日までの毎週土曜日午後一時〜四時 電話 〇一八八二四一〇一八七(秋田県司法書士会)及び各司法書士事務所

大野台の里の職員募集のお知らせは、四面にあります。

菱餅

飾りは無くとも、ひなあられと菱餅を造って桃の節句のお祝いを。そんな時に、菱餅をどんな順序に重ねるかご存知でしょうか。...



春の初めを伝える桃の節句ですが、今年は記録的な暖冬で春への足音が高く感じられます。

わがやか君

西村 宗



善意のご寄付

- 香典返しにかえて
佐藤 久芳 木戸石 (故父 久治)
山岡 正人 雪田 (故祖母 モヨ)
金田 勝見 羽根山 (故父 貞一郎)
佐藤 豊太郎 川井 (故妻 ナヲ)
工藤 健三 上杉 (故父 義美)
高橋 与一郎 下杉 (故母 ミチ)
工藤 多市 上杉 (故母 キミヨ)

- 一般寄付
武石工務店 駅前
工藤美代松 東京都江戸川区西小岩 3-33-6
杉淵与二郎 鷹巣町綴子 鷹巣病院内
金田 広蔵 横須賀市追浜 3-21
齊藤 孝治 大館市軽井沢字下岱 20-38
浪岡 徳美 北海道苫小牧市大成町 1-8-1-518

- 物品寄贈
母の実会 (図書-農村環境改善センター)

慶弔だより 1月届出

- お誕生おめでとうございます
長女 女長 長二二二
幹隆 正弘 利行 威
根里 前ヶ丘 前
東三 駅前 駅前

- 謹んでおみやみ申し上げます
本人 母 母父 妻 母母父
佐藤 久治 木戸石
工藤 多市 上杉
山岡 雪田 羽根山
金田 貞一郎 川井